

令和5年度ひろしま版ネウボラ戦略的PRモデル事業の実施状況について

1 要旨

「ひろしまネウボラ」の理念や価値について県民の理解を深め利用促進を図るとともに、ネウボラ相談員がその価値を意識してサービスを提供することを目的として、戦略的PRモデル事業を3市町（三原市、福山市、海田町）において実施しており、令和5年度の状況について報告する。

2 現状・背景

利用者にとって身近な地域に相談窓口を設置し、いつでもネウボラに相談に来ていただけるよう各市町において広報活動に取り組んでいるが、国や県独自の調査から相談相手がない子育て家庭が一定数いることが分かっている。

そのため、まずはネウボラ相談員にネウボラの価値や行動基準について共通認識を持ってもらい、その上で、利用者にもその内容を周知し、相談に来てもらいやすくするため、戦略的PRモデル事業を令和5年度から開始した。なお、モデル市町については、実施意向を募り3市町を選定した。

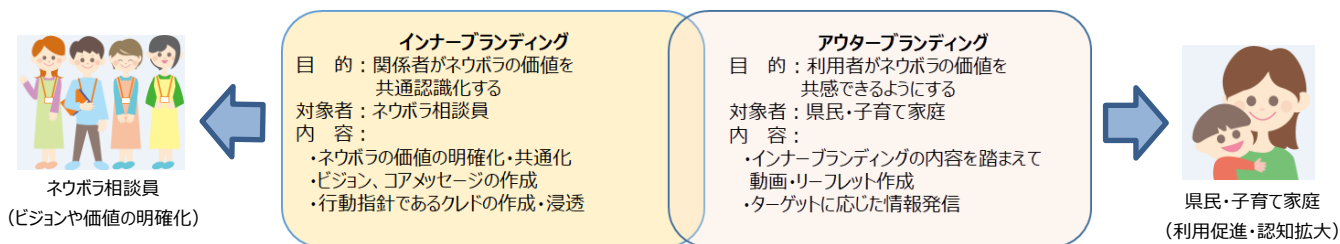
3 概要

(1) モデル市町

三原市、福山市、海田町

(2) 取組内容

ネウボラに相談・来所してもらうためには、ネウボラで得られる価値を正しく、分かりやすく伝える取組（ブランディング）が必要と考え、モデル市町においてインナーブランディングとアウトナーブランディングを実施した。



ア インナーブランディング

令和5年6月～令和6年3月までの間の月1～2回程度、市町毎に各ネウボラ拠点の相談員が集まり、ブランディングの基礎に関する講義・ワークショップを実施。利用者にとってどんな場所になるのが理想か、ネウボラのビジョン、コアメッセージ、相談員としての行動基準（クレド）などを相談員自身が考えることで、ネウボラの価値の明確化・共通化を図った。

《ビジョン》

将来的にネウボラが理想とする姿、またネウボラのあるべき姿を定義したもの。

- 「子どものことならまずはネウボラ」といえる場に
- 寄り添いながら、子どもの成長を共に見守る場に
- つながりを感じる、あたたかい場に

《コアメッセージ》

ネウボラの「機能面」と「情緒面」の素晴らしさを短い言葉で表現し、どんな価値を提供するのか表現したもの。

➤ こどもに寄り添う、あなたに寄り添う

《行動指針（クレド）》

ネウボラ相談員の行動指針となるキーワードと解説文を作成したもの。相談員が手元に持ち、自ら振り返りながら意識改革、浸透を図る。初めて見た人も理解でき、共感しやすいよう分かりやすい言葉で表現している。

【7つのキーワード】

- ①共感力 ②頼れる知識 ③信頼 ④安心できる伴走者 ⑤共に喜ぶ
- ⑥わくわく ⑦OneTeam

イ アウターブランディング

子育て家庭がネウボラを認知し、価値を理解してもらえるよう、インナーブランディングで抽出した価値を表現したツール（動画やリーフレットなど）を作成した。

なお、ブランディングを進めるなかで、より県民に親しみやすさを感じて頂けるようひろしま版ネウボラの「版」を取り、「ひろしまネウボラ」という表現を用いることとした。

《リーフレット》

ひろしまネウボラの認知を促進するため、機能をPRするだけでなく、利用者の心情に働きかける内容とし、利用イメージなどを掲載した。主にネウボラ拠点や関係機関、イベント等で配付することとしている。

《動画》

子育て世代の養育者をターゲットとし、ネウボラを利用して得られる情緒的な価値を表現した。これに続き、市町毎に撮影したネウボラの様子や機能面の紹介、利用者のインタビューなどが続き、具体的な利用イメージが分かるようになっている。

YouTube、WEB 広告や県・各市町の HP において掲載するとともに、モデル市町内の施設等で放映を開始している。

県 ▶ https://youtu.be/xqQ6F9eHndA 	三原市 ▶ https://youtu.be/gSDqMj0n-Vg 福山市 ▶ https://youtu.be/BQX9x10uEBU 海田町 ▶ https://youtu.be/N7_jpxKbCkrA
--	---

4 令和5年度予算（単県）

28,000 千円

5 今後の対応

- 令和5年度に作成したアウターブランディングのツール（動画等）を活用し、引き続き PR を行うとともに、ネウボラ相談員に理念や行動指針等をさらに浸透させるためのインナーミーティングを実施する。
- 利用者との接点であるネウボラ拠点がコアメッセージに添うものとなるよう、モデル市町のネウボラ施設や空間などの改修を支援し、引き続きブランディングに取り組むとともに、効果の検証を行っていく。

ひろしまネウボラ

CREDO

共感力

私たちは利用者が感じた喜びや悩みなどを
受容・傾聴・共感しながら、気持ち・心に
寄り添います。
共感することは利用者の安心や信頼につながり、
心を開いてもらうきっかけとなるからです。

頼れる知識

私たちは常に現状把握に努め、
学習を重ねることで専門性と経験値を
アップデートします。
子育てをとりまく社会や環境が変化する中で
頼れる存在になりたいからです。

信頼

私たちは利用者の思いや悩みを受け止め、
対話を行う姿勢を大切にします。
これまで培った知識・経験を活かした対話により、
子どもや利用者信頼関係を築きたいからです。

安心できる伴走者

私たちは利用者と同じ目線で共感し、
一緒に考え、一人ひとりに寄り添います。
寄り添い見守ることで、利用者に安心して
楽しく毎日を過ごしてもらいたいからです。

共に喜ぶ

私たちは養育者の日々の子育てに寄り添い、
子どもの「できた」を見つけ、一緒に喜びます。
それが前向きな気持ちと家族の笑顔に
つながっていくからです。

わくわく

私たちは、利用者一人ひとりに
出会いという宝物をプレゼントします。
出会いから発見や楽しさ、喜び、つながり、
たくさんのわくわくが生まれるからです。

One Team

私たちは、子どもと養育者をまんやかに、
1つのチームとして子育てをサポートします。
子育てのいろいろな事を受け止めて
支えることができるからです。

あなたのそばに、 みはらネウボラ

抱きしめられる日も そうじゃない日も
元気な日も 寝不足の日も
うれしい日も そっとしておいてほしい日も
寝顔にごめんねと言う日も
どんな日もお近くのネウボラへ



産婦人科



あなたの声に
応えたい

三原市子ども家庭センター すくすく

子育てアドバイザー（保健師・助産師・看護師・臨床心理士・言語聴覚士・栄養士・歯科衛生士・保育士・家庭児童相談員）が勢揃い！
パパママスクール・子育て相談・乳幼児健診・発達相談等も実施中。詳しくはアプリを見てね。

4ヵ所 ・すくすく三原 ・すくすく久井
・すくすく本郷 ・すくすく大和

三原市の子育て応援アプリ 「みはらすくすく」



複雑な予防接種スケジュールの自動計算・お子さんの成長が記録できる母子健康手帳機能、子育て情報の配信機能などがあります。

三原市 子ども部 子ども安心課
〒723-8601 三原市港町3丁目5番1号
☎ 0848-67-6217



ほっとできる
居場所に

地域子育て支援センター

保育士等が子どもの成長に合わせて遊びや声かけを提案！毎月のイベント情報はこちらでチェック。→



11ヵ所

- ・紅梅認定こども園
- ・さくらこども園
- ・あさかぜ保育園
- ・円一保育所
- ・認定あやめが丘こども園
- ・本郷ひまわり保育所
- ・さんさんまりんこども園
- ・久井認定こども園
- ・愛育認定こども園
- ・大和認定こども園
- ・あんず認定こども園



自由に過ごせる
遊び場

児童館「ラフraf」

広い遊戯室や赤ちゃん限定ルーム、スポーツ室、図書コーナーなどがあり、みんなが気軽に遊びに行ける場所です。
土日も空いていますよ！
ファミサポ利用の相談もラフrafへ！



ひろしま
ネウボラ

こどもに寄り添う。
あなたに寄り添う。

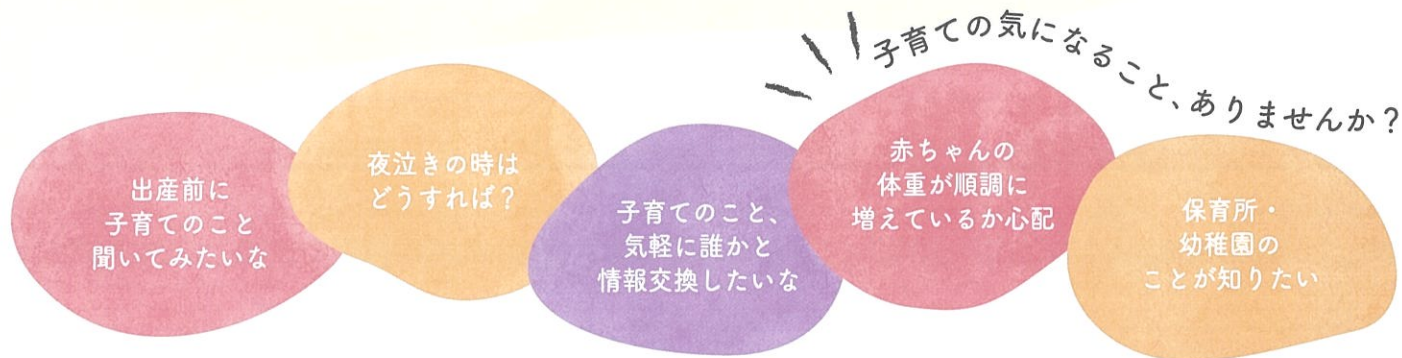


妊娠・出産・子育てをする方に寄り添う。それが、ネウボラ

ネウボラは妊娠・出産・子育てをする人に寄り添い、その時期に合わせたアドバイスやサポートをする取組のことで、

子どもがどんなことをできるようになったのか、あなたがどんなことに困っているのかを、話を聞いたり相談に乗ったりしながら、子どもの成長を共に感じ、見守ります。そのため、いつでも気軽に立ち寄り、人とのつながりを感じてもらえる、あなたの心のよりどころとなる場所を目指しています。

★
ネウボラとは
フィンランド語で
「アドバイスの場」のこと



妊娠から子育てまで、あなたと子どもに寄り添います



妊娠期

母子健康手帳をお渡しする際にあなたの担当相談員の名前をお伝えします。出産や子育てのことで不安なとき、誰かと話したいとき、ぜひ私たちが思い出してください。



産前

出産前の全ての方を対象に、電話や対面での面談を行います。赤ちゃんのご家族の健康を第一に、あなたの家庭に合わせた産前・産後の生活について一緒に考えます。



産後

出産後は身体も心も周りの環境も大きく変化します。ご家庭の状況を踏まえた支援サービスをご紹介します。



子育て期

子どもが成長するにつれて、発達のことや保育所のことなど、新しい心配事が生まれてくるでしょう。ネウボラで解決できない場合も、責任をもって担当者へおつなぎします。

定期面談

妊娠期から子どもが3歳になるまでの計7回以上の定期面談で、みなさんが抱える不安や悩みをお聞きし、必要な支援につなげます。

※市町によって取組は異なります。

時期に合わせた窓口での相談対応(計7回以上の面談)



手帳交付

両親学級・産前産後サポート事業・産後ケア事業・家事育児支援 など

訪問や電話での相談・フォロー<新生児訪問・乳児家庭全戸訪問(こんにちは赤ちゃん訪問)など>

私たちに相談してみませんか

ネウボラ相談窓口と地域の関係機関が連携し、妊娠・出産・子育てをサポートします。困ったり悩んだりしたとき、誰かと話したくなったときには、いつでも頼ってください。

妊娠期から子育て期に関することなら

ネウボラ相談窓口

(市役所・町役場・保健センターなど)

- 定期面談
- 子育ての悩み相談
- 地域の関係機関を紹介



保健師や保育士、栄養士など、さまざまな専門職が悩みに応じてサポートします。

ネウボラ相談員

ネウボラに来られた方に寄り添い、お話を聞いたり、相談に乗ったりしながら、子どもの成長と一緒に感じ、見守っていきます。



子育て講座や交流なら

地域子育て支援拠点

(子育て支援センターなど)

- 子どもの遊び場を提供
- 知り合いづくりの場を提供
- 子育ての講座やイベントを開催



医療・健康のことなら

産婦人科・助産院・小児科など

- 妊産婦健診・乳幼児健診
- 予防接種
- 両親学級
- 母乳育児外来、アレルギーや発達相談



保育・教育のことなら

保育所・幼稚園・認定こども園など

- 未就園児も対象とした
- 園庭開放
- 子育て相談

利用者の声

あなたの市町の取組は裏面へ



これから
パパ・ママに
なる人

出産後に頼れる人が近くにいないので心配していましたが、産後ケアというサポートがあると知って安心しました。



出産後の
親子

保健師さんに体重を測ってもらい、子どもの成長と一緒に見てもらっています。子どもがどんどん新しいことができるようになって嬉しいです。



子育て中の
親子

家は子どもと親だけの空間になるので、毎日のように来ています。子どもは同じ月齢の子と遊んだり、私はそのお母さんたちと話をしたり、子どもも私も楽しんでいます。

私たちがネウボラに込めた思い <https://hiroshimaneuvola.jp/>

